

2025 年 10 月 入 学
2026 年 4 月 入 学

総 合 研 究 大 学 院 大 学
先 端 学 術 院 先 端 学 術 専 攻
【分子科学コース】

5 年一貫制博士課程
博士後期課程

学 生 募 集 要 項

願書等については、「出願書類様式集」(冊子)を大学宛に請求してください。

https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/gias_guideline/application/index.html

【問合せ先】 ※問い合わせは志願者本人が行うこと

総合研究大学院大学 学務課学生係

住 所: 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

電 話: 046-858-1525・1526

E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp

時 間: 平日 9:00~12:00 及び 13:00~17:00

目 次

I. 先端学術院先端学術専攻の概要	p. 1
II. 5年一貫制博士課程 出願手続き及び注意事項	p. 3
III. 博士後期課程 出願手続き及び注意事項	p. 11
IV. 分子科学コース指導教員一覧	p. 18

I. 先端学術院先端学術専攻の概要

アドミッション・ポリシー

求める学生像
総合研究大学院大学は、研究に対する強い興味を持ち、学問の全体を俯瞰的に捉えながら、新しい時代を切り開く研究を目指して、豊かな知性と感性を絶えず研磨し、国際的に活躍する意志と熱意を持った学生を求める。
入学者選抜の基本的な考え方
総合研究大学院大学は、入学者を選抜するにあたって、我が国の先端学術を牽引する大学共同利用の研究所その他の機関が担う学術分野において、自立的に研究を推進することのできる基礎学力と論理的な思考力を重視する。そのような力を適正に判定するために、それぞれの専門領域に応じた多様な選抜を実施する。

教育研究上の目的、養成する人材像

本学は、5年一貫制博士課程及び博士後期課程を持つ国立大学で、博士の学位を目指す学生のみ受け入れます。

先端学術院は、本学創設の理念と目的に基づき、大学共同利用機関等を基盤とする大学院大学として、学術のあるべき姿を長期的に見据え、人類社会の知的基盤を支える学術の継承・発展や高度な研究開発の担い手となり、新たな知的価値を創出することができる博士人材を育成し輩出することを目的とします。

総研大とは

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/features/>)をご参照ください。

教員一覧

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/faculty-directory/index.html>)をご参照ください。

授業科目について

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/course/>)をご参照ください。

学位(博士)取得について

5年一貫制博士課程

本学に5年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがある。

博士後期課程

本学に3年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがある。

授与する学位

教育コース	学位記に付記する分野	英文学位
人類文化研究	博士(文学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	Doctor of Philosophy
国際日本研究	博士(学術)	
日本歴史研究	博士(文学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
日本文学研究	博士(文学)	
日本語言語科学	博士(文学)または博士(学術)	
情報学	博士(情報学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
統計科学	博士(統計科学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
素粒子原子核	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
加速器科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)または博士(工学)	
天文科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)または博士(工学)	
核融合科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)または博士(工学)	
宇宙科学	博士(理学)・博士(工学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
分子科学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
物質構造科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)または博士(工学)	
総合地球環境学	博士(学術)または博士(理学)	
極域科学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
基礎生物学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
生理科学	博士(学術)、博士(理学)、博士(脳科学)、博士論文の内容によっては博士(医学)	
遺伝学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
統合進化科学	博士(理学)・博士(学術)	

(注) 博士(医学)については、医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部を卒業または医科学修士の学位を有し、5年一貫制博士課程へ入学した者のみが対象となります。

Ⅱ. 5年一貫制博士課程 出願手続き及び注意事項

1. 募集人員

教育コース	4月入学	10月入学
情報学	8名程度	若干名
統計科学	2名程度	若干名
素粒子原子核	6名程度	若干名
加速器科学	2名程度	若干名
天文科学	5名程度	-
核融合科学	3名程度	若干名
宇宙科学	4名程度	若干名
分子科学	7名程度	-
物質構造科学	2名程度	若干名
極域科学	2名程度	-
基礎生物学	5名程度	若干名
生理科学	3名程度	若干名
遺伝学	6名程度	若干名
統合進化科学	3名程度	若干名
入学定員	58名	

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

【出願資格認定審査を要しない者】

- ① 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 83 条に定める大学を卒業した者及び入学の前月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び入学の前月までに学士の学位を授与される見込みの者 ※1
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学の前月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学の前月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学の前月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ⑦ 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 5 号の規定により、文部科学大臣が別に指定する専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び入学の前月までに修了する見込みの者
- ⑧ 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 6 号の規定により、文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年文部省告示第 5 号) ※2

【出願資格認定審査を要する者】

- ⑨ 次のいずれかに該当するものであって、本学において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (1) 入学の前月末日で外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - (3) 我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑩ 入学の前月末日で学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者であって、本学において、当該大学の所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者
- ⑪ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑫ 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の前月末日までに 22 歳に達しているもの ※3

※1 出願資格②に該当する者とは、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者になります。

※2 出願資格⑧に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者になります。

※3 出願資格⑫に該当する者とは、短大・高専・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者(見込みを含む)で、個人の能力の個別審査により、本学において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者等になります。

出願資格について疑問がある場合は、あらかじめ学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は 電話 046-858-1525・1526]に照会してください。

3. 出願資格認定審査

出願資格⑨～⑫により出願しようとする者については、以下の書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。

(1) 提出書類

ア. 入学者選抜出願資格認定申請書	本学所定の様式(別紙様式7-1)
イ. 通常の出願書類	「5. 出願書類等」に定める書類 ※ただし、検定料については出願資格が認定された後に払い込んでください。

上記ア及びイは、一括して提出してください。また、必要に応じてコースから追加書類の提出を求める場合があります。

(2) 出願資格認定審査のための書類提出期間(出願資格⑨～⑫で出願する者のみ)

入試区分	入学区分	出願資格認定申請期間
第1回	2026年4月入学	<他コースを併願する者> 2025年6月2日(月)～2025年6月5日(木) <分子科学コースのみを受験する者> 2025年6月2日(月)～2025年6月5日(木)および 2025年7月22日(火)～2025年7月24日(木) (どちらかの期間内に申請すること)
第2回	2026年4月入学	<他コースを併願する者・分子科学コースのみを受験する者> 2025年11月4日(火)～2025年11月6日(木)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(3) 提出方法

原則として郵送とします。市販の角形2号封筒(33cm×24cm)に冊子版の出願書類様式集の中の出願書類送付用の用紙を貼り付け、必ず速達・簡易書留郵便としてください。また、表に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、提出期間最終日の17時までまでに持参してください。

(4) 出願資格認定審査の結果

出願資格認定審査の結果は、願書受付期間の前までに本人へ通知します。

出願資格を認定された者については別紙様式8を参照し、検定料を払い込んでください。また、払い込み後、検定料払込証明書に振替払込受付証明書(お客さま用)を貼付け、学務課学生係まで提出してください。

4. 願書受付

出願資格①～⑧により出願しようとする者については、「5. 出願書類等」に定める書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。

(1) 受付期間

入試区分	入学区分	出願期間
第1回	2026年4月入学	<他コースを併願する者> 2025年6月26日(木)～2025年7月2日(水) <分子科学コースのみを受験する者> 2025年6月26日(木)～2025年7月2日(水)および 2025年8月25日(月)～2025年8月29日(金) (どちらかの期間内に出願すること)
第2回	2026年4月入学	<他コースを併願する者・分子科学コースのみを受験する者> 2025年12月4日(木)～2025年12月10日(水)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(2) 出願方法

原則として郵送とします。市販の角形2号封筒(33cm×24cm)に冊子版の出願書類様式集の中の出願書類送付用の用紙を貼り付け、必ず速達・簡易書留郵便としてください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、受付期間最終日の17時までまでに持参してください。各コースを置く基盤機関では受け付けませんので注意してください。

(留意事項)

郵送前には記入漏れ、書類不備のないことを必ず確認してください。郵送に際しては、郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。

郵送・提出先
〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)
総合研究大学院大学 学務課学生係
電話:046-858-1525・1526

5. 出願書類等

出願にあたり後述の「受験される皆さんへ」を熟読してください。また、出願書類は黒や青のペンまたはボールペン(消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可)で記入してください。

【全員提出が必要なもの】

書類名	留意事項
入学願書・受験票	本学所定の様式(別紙様式1-A)に記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真(4.5cm×3.5cm)を、所定の位置に貼り付けてください。 募集要項の内容を熟読し、その内容に同意したうえで署名してください。
成績証明書	原本を提出してください。 出願資格①:大学(学部)の成績証明書すべて ※編入学により認定されている科目がある場合には、編入学前(高等専門学校または短期大学等)の成績証明書も提出すること 出願資格②:学位の取得に係る証明書すべて 出願資格③～⑨:外国の大学等の成績証明書 出願資格⑩～⑫:最終学歴に係る成績証明書

書類名	留意事項
卒業(見込)証明書等	原本を提出してください。 出願資格①:大学(学部)の卒業(見込)証明書 出願資格②:大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与証明書または学校長が発行する学位授与申請予定証明書 出願資格③～⑨:外国の大学等の卒業(見込)証明書 出願資格⑩:在学証明書 出願資格⑪～⑫:最終学歴に係る卒業(見込)証明書
志望理由書	本学所定の様式(別紙様式2・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。 第2志望コースにも出願する場合は、第1志望コースとは別に別紙様式2を作成してください。
検定料	検定料は 30,000 円です。払い込み方法については別紙様式8を参照してください。 国費外国人留学生は検定料の納付は不要です。国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。
連絡受信先シール	本学所定の様式(別紙様式9)により作成してください。
外国為替及び外国貿易法第 25 条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	簡易チェックフローチャートを参照し、本学所定の様式(別紙様式10)により作成してください。簡易チェックフローチャートの詳細については、総務課研究協力係(E-mail: kenkyo@ml.soken.ac.jp)にお問合せください。 ・簡易チェックフローチャート https://www.soken.ac.jp/admission/file/tokuteiruiki.pdf ※日本国外に居住する者は提出不要
専門科目筆記試験出題言語選択票	本学所定の様式(別紙様式11)により、筆記試験の言語を選択し、提出してください。
筆記試験科目選択票	本学所定の様式(別紙様式12)により、希望する2科目を選択し、提出してください。 詳細は「受験される皆さんへ」のページを参照ください。
英語能力について	本学所定の様式(別紙様式13-1)により、英語能力の評価方法を選択し、提出してください。 適宜、チェックした内容や「受験される皆さんへ」の指示に従い、英語のスコア等を併せて提出してください。
レターパックプラス(受験票送付用)	受験票等について「レターパックプラス」で発送いたしますので、郵便局で購入のうえ、提出してください。

【該当者のみ提出が必要なもの】

書類名	該当者	留意事項
履歴書	外国で教育を受けた出願者は全員	本学所定の様式(別紙様式1-2)に所要事項を記入してください。
論文、報告書等研究能力を示す資料	該当者	論文や報告書等の研究能力を示す資料がある者は、提出を認めます。 第2志望コースにも出願する場合は、第1志望コースとは別に1部追加で提出してください。
在職在学許可書	在職している者(正規の職員である者または雇用期間が1年以上かつ週の労働時間が30時間以上の職に就いた者)	本学所定の様式(別紙様式6)により当該所属長が作成したものを提出してください。ただし、在職在学許可書の提出が困難な者は、本人が入学時に在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等を提出する旨を記載した申立書(様式任意)をもって代えることができます。 ※現に在職中の者で、本学への入学時に退職予定である者は、その旨を記載した申立書(様式任意)を提出すること
在留カードまたはパスポート	外国籍出願者	日本国内に居住する者は、在留カード(両面)のコピーを提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの本人情報ページのコピーを提出してください。

(注1)提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、出願書類は返却しません。

(注2)婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本(写し可)を添付してください。

(注3)出願書類(別紙様式)は、冊子版の出願書類様式集をご利用ください。なお、別紙様式2については、本学ウェブサイトからダウンロード可能です(<https://www.soken.ac.jp/admission/application/info/ms/>)。

(注4)出願書類は日本語もしくは英語で記入してください。また、日本語もしくは英語ではない言語で記載された証明書を提出する場合は、日本語または英語の証明書等を添付してください。

(注5)博士後期課程または修士課程に在学中の(または在学していた)出願者は、博士後期課程または修士課程の成績証明書

を提出してください。また、博士後期課程または修士課程を修了した出願者は修了証明書を、退学した出願者は退学証明書を提出してください。

6. 選抜の方法、期日及び試験会場

入学者の選抜は、書類選考と学力検査により行います。

選抜の詳細については、「受験される皆さんへ」を参照してください。

また、学力検査の実施期間が重複していない第2志望コース(併願可能コースはP.9を参照)を併願することができます。

選抜はコースごとに行いますので、併願する際には各試験日程・試験会場に留意してください。

入試区分	入学区分	学力検査の実施期間
第1回	2026年4月入学	2025年9月29日(月)～2025年9月30日(火)
第2回	2026年4月入学	2026年1月26日(月)～2026年1月27日(火)

(注)学力検査の日時等詳細は受験票送付の際に通知します(原則、レターパックプラスで郵送)。上表の学力検査の期間のうち指定された学力検査の期日及び時間に、余裕をもって集合してください。

受験票が学力検査実施期間の3日前を過ぎても到着しない場合は、学務課学生係まで問い合わせてください。

送付予定日については、本学ウェブサイトを確認してください。

[https://www.soken.ac.jp/admission/application info/ms/](https://www.soken.ac.jp/admission/application%20info/ms/)

試験会場:

教育コース	試験会場
分子科学	自然科学研究機構 分子科学研究所 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38 ・名鉄名古屋本線 東岡崎駅から徒歩(約7分)

7. 合格者発表

入試区分	入学区分	発表時期
第1回	2026年4月入学	2025年10月中旬
第2回	2026年4月入学	2026年2月中旬

※詳細は追って出願者に通知します。

合格者に対しては合格通知書を発送します。

合格者発表は本学ウェブサイト上([https://www.soken.ac.jp/admission/general admission/result/](https://www.soken.ac.jp/admission/general%20admission/result/))でも行いますが、必ず郵送による本人あて通知文書により再度確認してください。また、電話による照会には、一切応じません。

8. 入学手続き

(1)入学手続き期間は、2026年4月入学者は2026年3月上～中旬を予定していますので、合格者は所定の期間内に入学手続きを完了してください。なお、詳細は、合格者に対して別途通知します。

(2)入学に要する経費は次のとおりです。ただし、国費外国人留学生は入学料及び授業料は不要です。

入学料	282,000 円
授業料(年額535,800 円のうち半期分)	267,900 円
学生教育研究災害傷害保険料(5年分)(通学特約・賠償特約付)	5,750 円

注1 入学時及び在学中に、入学料及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

注2 納付済みの入学料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、学生教育研究災害傷害保険料については、2026年4月入学者は2026年3月31日までに入学を辞退した場合、返還します。

(3)有職者(非常勤、アルバイトを除く。)については、任命権者が発行する書類(在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等のいずれか)を提出してください。本学入学の前月までに退職する者は、退職証明書を提出してください。

(4)出願時に他の大学・大学院に在籍している者(本学入学の前月までに卒業・修了する者は除く)は、退学証明書を提出してください。

(5)外国籍の方は、特別な事情のない限り、「留学」の在留資格を取得して下さい。「留学」の在留資格の取得方法は本学ウェブサイトにて案内しています。

9. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、職業を有している等の事情により、標準の修業年限(5年一貫制博士課程:5年)を超えて在学しなければ課程を修了することが出来ない者が、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出た場合、その計画的な履修を認める制度です。

この制度の詳細に関しては、学務課教務係(E-mail:kyomu@ml.soken.ac.jp 又は電話 046-858-1523・1524)にお問合せください。

10. 注意事項

- (1)出願及び受験の際は、「受験される皆さんへ」をよく読んでおいてください。
- (2)出願書類受理後の提出書類の返却及び内容変更は認められません。
- (3)出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4)出願時に他の大学院に在学中で転入学を希望する場合は、願書受付期間の最終日までに学務課学生係までお知らせください。
- (5)心身に障害のある出願者で受験時および入学後の履修に際し、特別な措置を必要とされる場合には、出願書類受付期間の3か月前までにその旨お知らせください。
- (6)受験辞退される際には、学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax:046-858-1632]までお知らせください。
- (7)出願書類提出後に、住所等の変更がある場合には、学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax:046-858-1632]までお知らせください。
- (8)本学では、原則として二重学籍を認めていません。
- (9)管理上、姓名に含まれる旧字体、異体字等は JIS 第一水準または第二水準の範囲内の文字に置き換えられることがありますので、ご了承ください。
- (9)新型コロナウイルス感染症等の影響により、入学者選抜の実施方法を変更する場合は、本学ウェブサイトで公表しますので、必ず確認してください。
- (10)先端学術院の5年一貫制博士課程に入学した者のうち、本学学位規則第5条に規定されている修士学位取得資格者認定に合格し、かつ退学を許可された者に対しては、退学時に修士の学位を授与します。

11. 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「総合研究大学院大学安全保障輸出管理規則」等を定め、技術の提供や研究者・学生の受入れに際し、審査を実施しています。このことから、規制事項に該当するおそれのある場合は、希望する教育・研究内容の変更を求められることがあります。なお、入試の可否には関係ありません。

安全保障貿易管理の詳細については、経済産業省のウェブサイトを参照してください。また、審査手続きの詳細は各コースの担当事務までお問い合わせください。

・経済産業省のウェブサイト <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

12. 個人情報の取り扱いについて

- (1)出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続き」等の入試業務を行うために利用します。
なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、就学指導)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料徴収に関する業務」を行うことにも使用します。
- (2)入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

分子科学コース(5年一貫制博士課程)を受験される皆さんへ

「分子科学コース」は、「物質の基本構成単位である分子に対する体系的理解を確立し物質が示す多種多様な現象を解き明かす」ことを目的として設置されています。

1. 出願

出願にあたっては、学生募集要項と分子科学研究所のホームページ

<https://www.ims.ac.jp/education/boshu.html>

を参照して、出願書類を作成してください。受験希望者は可能な限り事前に希望指導教員とコンタクトをとり、入学後の研究テーマについて相談するようにお願いします。

希望指導教員については、「IV. 分子科学コース指導教員一覧」のページを参照してください。また、希望指導教員に直接電子メール等で連絡を取ってください。研究の場所となる分子科学研究所と分子科学コースのホームページのトップは

<https://www.ims.ac.jp/>

<https://www.ims.ac.jp/education>

を参照してください。

併願について、出願期間・課程・入学年月が同一の場合に、第2志望までの併願を可とします。本コースは、天文科学コース、核融合科学コース、宇宙科学コース、物質構造科学コース、基礎生物学コース、生理科学コース、統合進化科学コースとの併願を認めます。ただし、選抜は、コースごとに行われますので、併願する際には各試験日程・試験会場について留意してください。

2. 選抜方法

選抜は以下の1)～4)により行います。

1)書 類 選 考:提出された成績証明書等について行います。

2)筆 記 試 験:

専門科目(試験時間120分):物理化学、有機化学、無機化学、生物化学、物理学A(古典力学、電磁気学)、物理学B(量子力学、熱統計力学)の6科目のうちから、解答したい2科目を別紙様式12により、選択してください。各科目は2題で構成されており、選択した2科目4題のうちから試験時に任意の3題を選択して解答します。

3)面 接:

基礎学力、研究能力、研究意欲などについて質疑応答(15 分)を行います。

4)英 語:

TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアにより判定を行います。いずれかのスコアシートの原本を出願時に提出してください。ただし、出願期限までにスコアシートの原本が入手できない場合は、別紙様式13-1を出願時に提出のうえ、以下の提出期限までにご提出ください(郵送必着)。なお、原本以外は受理しません。

スコアは次の要求得点を満たしている必要があります。

(TOEFL-PBT:500、TOEFL-iBT:61、TOEIC:586、IELTS:5.0)

※スコアの取得時期は問いません。

ただし、英語を母語とする者、英語による授業・教育指導等により高等教育機関(大学以上)において学位を取得または取得見込みの者は、スコアの提出を免除する場合があります。

提出の無い場合は不合格となる場合があります。

※注意

上記のテストは実施日、実施会場が限られています。受験を検討されている方は早めに受験しておくようにしてください。

入試区分	提出期限
第1回	2025 年8月 29 日(金)
第2回	2025 年12月26 日(金)

※筆記試験及び面接試験は分子科学研究所で行います。本コースでは受験時の来日に伴う在留資格取得手続き及び、航空券の手配、宿泊施設の案内は行っておりませんので、国外に居住する外国籍の者が受験する場合は、原則出願者自身でご準備ください。

3. 入学者支援制度

分子科学コースでは、1～5 年次の全年次にあわせて RA(リサーチアシスタント)制度による経済的支援を行っています。これに加えて、平成 27 年度から、特に優れた研究能力及び将来において研究者となる意欲を有する者を採用する、SRA 制度を導入しました。

詳細は以下の URL を参照してください。
<https://www.ims.ac.jp/education/sra.html>

4. 上記に関する問い合わせ先
〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38 番地
自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 国際研究協力課 大学院係
電話:0564-55-7139 FAX:0564-55-7119
E-mail:r7139@orion.ac.jp
Web site: <https://www.ims.ac.jp/education>

Ⅲ. 博士後期課程 出願手続き及び注意事項

1. 募集人員

教育コース	4月入学	10月入学
人類文化研究	4名程度	-
国際日本研究	3名程度	-
日本歴史研究	3名程度	-
日本文学研究	2名程度	-
日本語言語科学	3名程度	-
情報学	12名程度	若干名
統計科学	6名程度	若干名
素粒子原子核	1名程度	若干名
加速器科学	1名程度	若干名
天文科学	1名程度	若干名
核融合科学	2名程度	若干名
宇宙科学	3名程度	若干名
分子科学	5名程度	若干名
物質構造科学	1名程度	若干名
総合地球環境学	2名程度	-
極域科学	1名程度	若干名
基礎生物学	3名程度	若干名
生理科学	6名程度	若干名
遺伝学	2名程度	若干名
統合進化科学	1名程度	若干名
入学定員	62名	

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

【出願資格認定審査を要しない者】

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び入学の前月までに取得する見込みの者
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑤ 学校教育法施行規則第156条第4号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有すると同等以上の学力があると認められた者及び入学の前月までに認められる見込みの者

【出願資格認定審査を要する者】

- ⑦ 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び入学の前月までに2年以上研究に従事することとなる見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

- ⑧ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び入学の前月までに2年以上研究に従事することとなる見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑨ 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の前月末日までに24歳に達しているもの

出願資格について疑問がある場合は、あらかじめ学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は電話 046-858-1525・1526]へ照会してください。

3. 出願資格認定審査

- [1] 出願資格⑦～⑨により出願しようとする者については、以下の書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。
- [2] 出願資格⑦～⑨により出願しようとする者についての「修士の学位を有する者と同等以上の学力」の確認は、書類審査で行います。なお、必要のある場合は面接を行います。

(1) 提出書類

ア. 入学者選拔出願資格認定申請書	本学所定の様式(別紙様式7-2)
イ. 通常の出願書類	「5. 出願書類等」に定める書類 ※ただし、検定料については出願資格が認定された後に払い込んでください。
ウ. その他コースが必要と認める書類	詳細については、本コースへ問い合わせてください。

上記ア～ウは、一括して提出してください。また、必要に応じてコースから追加書類の提出を求める場合があります。

(2) 提出期間(出願資格⑦～⑨で出願する者のみ)

入試区分	入学区分	出願資格認定申請期間
第1回	2025 年10月入学及び 2026 年4月入学	2025 年6月 2 日(月)～2025 年6月 5 日(木)
第2回	2026 年4月入学	2025 年11月 4 日(火)～2025 年11月 6 日(木)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(3) 提出方法

原則として郵送とします。市販の角形2号封筒(33cm×24cm)に冊子版の出願書類様式集の中の出願書類送付用の用紙を貼り付け、必ず速達・簡易書留郵便としてください。また、表に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。出願書類一式が封筒に入りきらない場合は、箱詰めなどで送付しても構いません。ただし、その場合でも追跡可能な方法により、送付してください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、提出期間最終日の17時までには持参してください。

(4) 出願資格認定審査の結果

出願資格認定審査の結果は、願書受付期間の前までに本人に通知します。

出願資格を認定された者については別紙様式8を参照し、検定料を払い込んでください。また、払い込み後、検定料払込証明書に振替払込受付証明書(お客さま用)を貼付け、学務課学生係まで提出してください。

4. 願書受付

出願資格①～⑥により出願しようとする者については、「5. 出願書類等」に定める書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。

(1) 受付期間

入試区分	入学区分	出願期間
第1回	2025 年10月入学及び 2026 年4月入学	2025 年6月26 日(木)～2025 年7月 2 日(水)
第2回	2026 年4月入学	2025 年12月 4 日(木)～2025 年12月10 日(水)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(2)出願方法

原則として郵送とします。市販の角形2号封筒(33cm×24cm)に冊子版の出願書類様式集の中の出願書類送付用の用紙を貼り付け、必ず速達・簡易書留郵便としてください。出願書類一式が封筒に入りきらない場合は、箱詰めなどで送付しても構いません。ただし、その場合でも追跡可能な方法により、送付してください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、受付期間最終日の17時までには持参してください。各コースを置く基盤機関では受け付けませんので注意してください。

(留意事項)

郵送前には記入漏れ、書類不備のないことを必ず確認してください。郵送に際しては、郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。

郵送・提出先
〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)
総合研究大学院大学 学務課学生係
電話:046-858-1525・1526

5. 出願書類等

出願にあたり、事前に志望指導教員とのコンタクトが必要です。

後述の「受験される皆さんへ」を熟読してください。また、出願書類は黒や青のペンまたはボールペン(消せるものや時間の経過により字が消えるものは不可)で記入してください。

【全員提出が必要なもの】

書類名	留意事項
入学願書・受験票	本学所定の様式(別紙様式1-B)に記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真(4.5cm×3.5cm)を、所定の位置に貼り付けてください。 募集要項の内容を熟読し、その内容に同意したうえで署名してください。
成績証明書	原本を提出してください。 出願資格①:大学院(修士課程または専門職大学院)と大学(学部)の成績証明書すべて ※編入学により認定されている科目がある場合には、編入学前(高等専門学校または短期大学等)の成績証明書も提出すること 出願資格②～⑥:外国の大学院(修士課程または専門職大学院)と大学(学部等)の成績証明書すべて 出願資格⑦～⑨:最終学歴に係る成績証明書
修士課程修了(見込)証明書等	原本を提出してください。 出願資格①:大学院(修士課程または専門職大学院)の修了(見込)証明書 ※大学院を修了した者は、取得学位が記載された修了証明書を提出すること 出願資格②～⑤:外国の大学院等の修了(見込)証明書 ※大学院等を修了した者は、取得学位が記載された修了証明書を提出すること 出願資格⑥～⑨:最終学歴に係る卒業証明書
これまでに行った研究の要旨	本学所定の様式(別紙様式3・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。
研究発表活動の概要	本学所定の様式(別紙様式4・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。
志望研究内容	本学所定の様式(別紙様式5・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。 第2志望コースにも出願する場合は、第1志望コースとは別に別紙様式5を作成してください。
検定料	検定料は30,000円です。払い込み方法については別紙様式8を参照してください。 国費外国人留学生は検定料の納付は不要です。国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。
連絡受信先シール	本学所定の様式(別紙様式9)により作成してください。
外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	簡易チェックフローチャートを参照し、本学所定の様式(別紙様式10)により作成してください。簡易チェックフローチャートの詳細については、総務課研究協力係(E-mail: kenkyo@ml.soken.ac.jp)にお問合せください。 ・簡易チェックフローチャート https://www.soken.ac.jp/admission/file/tokuteiruiki.pdf ※日本国外に居住する者は提出不要

書類名	留意事項
レターパックプラス(受験票送付用)	受験票等について「レターパックプラス」で発送いたしますので、郵便局で購入のうえ、提出してください。

【該当者のみ提出が必要なもの】

書類名	該当者	留意事項
履歴書	外国で教育を受けた出願者は全員	本学所定の様式(別紙様式1-2)に所要事項を記入してください。
修士論文(1編2部)	修士の学位を有する者及び修士課程在学中で修士論文を提出済みの者	修士論文の表紙右上に「修士論文(写し)」と朱書きしてください。 第2志望コースにも出願する場合は、第1志望コースとは別に第2志望コース提出用の修士論文を追加で提出してください。
学術論文(1編につき2部)	発表した学術論文がある者	第2志望コースにも出願する場合は、第1志望コースとは別に第2志望コース提出用の学術論文を追加で提出してください。
在職在学許可書	在職している者(正規の職員である者または雇用期間が1年以上かつ週の労働時間が30時間以上の職に就いた者)	本学所定の様式(別紙様式6)により当該所属長が作成したものを提出してください。ただし、在職在学許可書の提出が困難な者は、本人が入学時に在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等を提出する旨を記載した申立書(様式任意)をもって代えることができます。 ※現に在職中の者で、本学への入学時に退職予定である者は、その旨を記載した申立書(様式任意)を提出すること
在留カードまたはパスポートの本人情報ページ	外国籍出願者	日本国内に居住する者は、在留カード(両面)のコピーを提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの本人情報ページのコピーを提出してください。
受験方法選択票	海外在住の出願者	本学所定の様式(別紙様式19)により、受験方法を選択し、提出してください。

(注1)提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、出願書類は返却しません。

(注2)婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本(写し可)を添付してください。

(注3)出願書類(別紙様式)は、冊子版の様式出願書類集をご利用ください。なお、別紙様式3・4・5については、本学ウェブサイトからダウンロード可能です([https://www.soken.ac.jp/admission/application info/ms/](https://www.soken.ac.jp/admission/application%20info/ms/))。

(注4)出願書類は日本語もしくは英語で記入してください。また、日本語もしくは英語ではない言語で記載された証明書を提出する場合は、日本語または英語の証明書等を添付してください。

(注5)博士後期課程に在学中の(または在学していた)出願者は、博士後期課程の成績証明書を提出してください。また、博士後期課程を修了した出願者は修了証明書を、退学した出願者は退学証明書を提出してください。

6. 選抜の方法、期日及び試験会場

入学者の選抜は、書類選考と学力検査により行います。

各コースにおける選抜の詳細については、「受験される皆さんへ」を参照してください。

また、学力検査の実施期間が重複していない第2志望コース(併願可能コースはP.17を参照)を併願することができます。

選抜はコースごとに行いますので、併願する際には各試験日程・試験会場に留意してください。

入試区分	入学区分	学力検査の実施期間
第1回	2025 年10月入学及び 2026 年4月入学	2025 年8月25 日(月)～2025 年8月26 日(火)
第2回	2026 年4月入学	2026 年1月26 日(月)～2026 年1月27 日(火)

(注)学力検査の日時等詳細は受験票送付の際に通知します(原則、レターパックプラスで郵送)。上表の学力検査の期間のうちの指定された学力検査の期日及び時間に、余裕をもって集合してください。

なお、受験票が学力検査実施期間の3日前を過ぎても到着しない場合は、学務課学生係まで問い合わせてください。

送付予定日については、本学ウェブサイトを確認してください。

[https://www.soken.ac.jp/admission/application info/ms/](https://www.soken.ac.jp/admission/application%20info/ms/)

試験会場:

教育コース	試験会場
分子科学	<試験は、以下の試験会場またはインターネットを介して遠隔で行います。> 自然科学研究機構 分子科学研究所 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38 ・名鉄名古屋本線 東岡崎駅から徒歩(約7分)

7. 合格者発表

入試区分	入学区分	発表時期
第1回	2025 年10月入学及び 2026 年4月入学	2025 年9月上旬
第2回	2026 年4月入学	2026 年2月中旬

※詳細は追って出願者に通知します。

合格者に対しては合格通知書を発送します。

合格者発表は本学ウェブサイト上(https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/result/)でも行いますが、必ず郵送による本人あて通知文書により再度確認してください。また、電話による照会には、一切応じません。

8. 入学手続き

- (1) 入学手続き期間は、2025 年10月入学者は 2025 年9月下旬、2026 年4月入学者は 2026 年3月上～中旬を予定していますので、合格者は所定の期間内に入学手続きを完了してください。なお、詳細は、合格者に対して別途通知します。
- (2) 入学に要する経費は次のとおりです。ただし、国費外国人留学生は入学料及び授業料は不要です。

入学料	282,000 円
授業料(年額 535,800 円のうち半期分)	267,900 円
学生教育研究災害傷害保険料(3年分) (通学特約・賠償特約付)	3,620 円

注1 入学時及び在学中に、入学料及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

注2 納付済みの入学料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、学生教育研究災害傷害保険料については、2025 年10月入学者は 2025 年9月30日まで、2026 年4月入学者は 2026 年3月31日までに入学を辞退した場合、返還します。

- (3) 有職者(非常勤、アルバイトを除く。)については、任命権者が発行する書類(在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等のいずれか)を提出してください。本学入学の前月までに退職する者は、退職証明書を提出してください。
- (4) 出願時に他の大学・大学院に在籍している者(本学入学の前月までに卒業・修了する者は除く)は、退学証明書を提出してください。
- (5) 外国籍の方は、特別な事情のない限り、「留学」の在留資格を取得して下さい。「留学」の在留資格の取得方法は本学ウェブサイトにて案内しています。

9. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、職業を有している等の事情により、標準の修業年限(3年)を超えて在学しなければ課程を修了することが出来ない者が、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出た場合、その計画的な履修を認める制度です。

この制度の詳細に関しては、学務課教務係(E-mail:kyomu@ml.soken.ac.jp 又は電話 046-858-1523・1524)にお問合せください。

10. 注意事項

- (1) 出願及び受験の際は、「受験される皆さんへ」をよく読んでおいてください。
- (2) 出願書類受理後の提出書類の返却及び内容変更は認められません。
- (3) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願時に他の大学院に在学中で転入学を希望する場合は、願書受付期間の最終日までに学務課学生係までお知らせください。
- (5) 心身に障害のある出願者で受験時および入学後の履修に際し、特別な措置を必要とされる場合には、出願書類受付期間の3か月前までにその旨お知らせください。

- (6)受験辞退される際には、学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax:046-858-1632]までお知らせください。
- (7)出願書類提出後に、住所等の変更がある場合には、学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax:046-858-1632]までお知らせください。
- (8)本学では、原則として二重学籍を認めていません。
- (9)管理上、姓名に含まれる旧字体、異体字等は JIS 第一水準または第二水準の範囲内の文字に置き換えられることがありますので、ご了承ください。
- (10)新型コロナウイルス感染症等の影響により、入学者選抜の実施方法を変更する場合は、本学ウェブサイトで公表しますので、必ず確認してください。

11. 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「総合研究大学院大学安全保障輸出管理規則」等を定め、技術の提供や研究者・学生の受入れに際し、審査を実施しています。このことから、規制事項に該当するおそれのある場合は、希望する教育・研究内容の変更を求められることがあります。なお、入試の可否には関係ありません。

安全保障貿易管理の詳細については、経済産業省のウェブサイトを参照してください。また、審査手続きの詳細は各コースの担当事務までお問い合わせください。

・経済産業省のウェブサイト <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

12. 個人情報の取り扱いについて

- (1)出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続き」等の入試業務を行うために利用します。
- なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、就学指導)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料徴収に関する業務」を行うことにも使用します。
- (2)入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

分子科学コース(博士後期課程)を受験される皆さんへ

「分子科学コース」は、「物質の基本構成単位である分子に対する体系的理解を確立し物質が示す多種多彩な現象を解き明かす」ことを目的として設置されています。

1. 出願

出願にあたっては、学生募集要項と分子科学研究所のホームページ

<https://www.ims.ac.jp/education/boshu.html>

を参照して、出願書類を作成してください。出願書類の提出の前に、必ず希望指導教員と連絡を取り、入学後の研究テーマについて事前に相談してください。合格した場合にはその指導教員の指導のもとで博士課程の研究を進めることへの了解を十分に得ておく必要があります。また、第2志望コースの希望指導教員についても考慮し、その指導教員とも連絡を取っておくことが望まれます。希望指導教員については、「IV. 分子科学コース指導教員一覧」のページを参照してください。また、希望指導教員に直接電子メール等で連絡を取ってください。研究の場所となる分子科学研究所と分子科学コースのホームページのトップは

<https://www.ims.ac.jp/>

<https://www.ims.ac.jp/education/>

を参照してください。

併願について、出願期間・課程・入学年月が同一の場合に、第2志望までの併願を可とします。本コースは、天文科学コース、核融合科学コース、宇宙科学コース、物質構造科学コース、総合地球環境学コース、基礎生物学コース、生理科学コース、統合進化科学コースとの併願を認めます。ただし、選抜は、コースごとに行われますので、併願する際には各試験日程・試験会場について留意してください。

2. 選抜方法

選抜は書類選考と面接により行います。特に面接では、これまでにに行った研究内容又は修士論文及び今後志望する研究について質疑応答を行います。これまでの研究紹介 15 分、今後の志望研究 5 分、質疑応答 10 分とします。使用言語は日本語または英語です。

(日本在住者)

試験は、分子科学研究所で行います。また、PC プロジェクターを利用します。

(海外在住者)

試験会場での受験、またはオンラインでの受験を選択することができます。別紙様式19により、受験方法を選択してください。

試験会場での受験を選択した場合、試験は、分子科学研究所で行います。また、PC プロジェクターを利用します。本コースでは受験時の来日に伴う在留資格取得手続き及び、航空券の手配、宿泊施設の案内は行っておりませんので、原則出願者自身でご準備ください。オンラインでの受験を選択した場合、Zoom ウェブミーティングを利用します。

3. 採点・評価基準

面接では、基礎学力・研究能力・研究意欲・創造性・将来性などについて包括的に評価します。この面接評価に過去の研究内容(修士論文等)と成績証明書の内容に関して評価した結果を加え、総合的に可否を決定します。

4. 入学者支援制度

分子科学コースでは、RA(リサーチアシスタント) 制度による経済的支援を行っています。これに加えて、平成 27 年度から、特に優れた研究能力及び将来において研究者となる意欲を有する者を採用する、SRA 制度を導入しました。

SRA 制度に申請される場合、上記 2. 選抜方法の面接は、SRA の面接方法で行います。

詳細は以下の URL を参照してください。

<https://www.ims.ac.jp/education/sra.html>

5. 外国籍の方の入学手続きについて

外国籍の方は、特別な事情のない限り、「留学」の在留資格を取得してください。「留学」の在留資格の取得方法は本学ウェブサイトにて案内しています。

海外在住の場合は、在留資格の取得に2～3か月かかるため、出願時期と入学時期については十分留意してください。

6. 上記に関する問い合わせ先

〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38

自然科学研究機構 岡崎統合事務センター国際研究協力課大学院係

電話:0564-55-7139

FAX:0564-55-7119

E-mail:r7139@orion.ac.jp

Web site:<https://www.ims.ac.jp/education/>

IV. 分子科学コース指導教員一覧

ウェブサイトを参照のうえ、分子科学コースの概要、授業科目、各教員の教育研究内容をよく確認してください。

分子科学コース																																																																
指導教員一覧	2025年度に実施する入試において、学生の受け入れを可としている指導教員は、以下のとおりです。																																																															
	<table><tr><th>研究部門等</th><th>教授</th><th>准教授</th></tr><tr><td>理論分子科学第一</td><td>齊藤 真司</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">計算分子科学</td><td>江原 正博</td><td></td></tr><tr><td></td><td>奥村 久士</td></tr><tr><td></td><td>岡崎 圭一</td></tr><tr><td>光分子科学第二</td><td>大森 賢治(注2)</td><td></td></tr><tr><td>光分子科学第三</td><td>解良 聡</td><td></td></tr><tr><td>電子構造</td><td></td><td>杉本 敏樹</td></tr><tr><td>電子物性</td><td>清水 亮太</td><td>篠北 啓介</td></tr><tr><td>分子機能</td><td></td><td>西村 勝之</td></tr><tr><td rowspan="2">生体分子機能</td><td>加藤 晃一(注1)</td><td></td></tr><tr><td>飯野 亮太</td><td></td></tr><tr><td>錯体触媒</td><td></td><td>楳山 儀恵</td></tr><tr><td>錯体物性</td><td></td><td>瀬川 泰知</td></tr><tr><td rowspan="2">階層分子システム解析</td><td>秋山 修志</td><td></td></tr><tr><td></td><td>岡本 泰典</td></tr><tr><td>機能分子システム創成</td><td>山本 浩史</td><td></td></tr><tr><td>広帯域相関計測解析</td><td></td><td>熊谷 崇</td></tr><tr><td>光源加速器開発</td><td>金安 達夫</td><td></td></tr><tr><td>電子ビーム制御</td><td></td><td>平 義隆</td></tr><tr><td rowspan="2">光物性測定器開発</td><td>松井 文彦</td><td></td></tr><tr><td></td><td>田中 清尚</td></tr></table>			研究部門等	教授	准教授	理論分子科学第一	齊藤 真司		計算分子科学	江原 正博			奥村 久士		岡崎 圭一	光分子科学第二	大森 賢治(注2)		光分子科学第三	解良 聡		電子構造		杉本 敏樹	電子物性	清水 亮太	篠北 啓介	分子機能		西村 勝之	生体分子機能	加藤 晃一(注1)		飯野 亮太		錯体触媒		楳山 儀恵	錯体物性		瀬川 泰知	階層分子システム解析	秋山 修志			岡本 泰典	機能分子システム創成	山本 浩史		広帯域相関計測解析		熊谷 崇	光源加速器開発	金安 達夫		電子ビーム制御		平 義隆	光物性測定器開発	松井 文彦			田中 清尚
	研究部門等	教授	准教授																																																													
	理論分子科学第一	齊藤 真司																																																														
	計算分子科学	江原 正博																																																														
			奥村 久士																																																													
			岡崎 圭一																																																													
	光分子科学第二	大森 賢治(注2)																																																														
	光分子科学第三	解良 聡																																																														
	電子構造		杉本 敏樹																																																													
	電子物性	清水 亮太	篠北 啓介																																																													
	分子機能		西村 勝之																																																													
	生体分子機能	加藤 晃一(注1)																																																														
		飯野 亮太																																																														
	錯体触媒		楳山 儀恵																																																													
	錯体物性		瀬川 泰知																																																													
	階層分子システム解析	秋山 修志																																																														
			岡本 泰典																																																													
	機能分子システム創成	山本 浩史																																																														
	広帯域相関計測解析		熊谷 崇																																																													
	光源加速器開発	金安 達夫																																																														
	電子ビーム制御		平 義隆																																																													
	光物性測定器開発	松井 文彦																																																														
			田中 清尚																																																													
	(注1)5年一貫制の標準修業年限(5年)より前に退職予定																																																															
	(注2)博士後期課程の標準修業年限(3年)より前に退職予定																																																															
各教員の研究内容については、 https://www.ims.ac.jp/education/group_list.html と各教員へのリンク先をご覧ください。																																																																
コース担当 事務	自然科学研究機構 分子科学研究所 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38 担当係:岡崎統合事務センター国際研究協力課大学院係 電話:0564-55-7139 FAX:0564-55-7119 E-mail:r7139@orion.ac.jp																																																															